

議第 1 3 号 平成 3 0 年度福山市病院事業会計予算について、日本共産党の討論を行います。

福山市民病院は、急性期医療やがん医療などの高度な医療を担うとともに、地域医療などの不採算部門も担い、市民の命と健康を守る重要な使命を持つ自治体病院であります。

本年度は、地域の医療ニーズに応え、看護師を増員する他、全身マルチスライスＣＴスキャナ、ドクターカーや医療情報ネットワークの機器更新が予定されており、以下の要望を付して賛成の討論と致します。

１、平均在院日数の短縮や病床利用率の向上など、収益優先にとられるのではなく、患者が安心して治療が出来ることを最優先とすること。

１、田原・山野・広瀬などのへき地医療を維持、拡充すると共に、周産期医療、小児科診療など不採算部門を積極的に担うこと。

1、医療現場になじまない人事評価制度は中止すること。

1、市独自の奨学金制度を創設し、医師確保に引き続き努めること。

医師の多忙化解消、時間外労働の削減をすすめること。また、医師の養成数を増やすよう国に求めること。

1、引き続き、看護師確保に努め、子育てや家庭生活と両立ができる勤務体制にすること。

1、今後、独立行政法人化や民営化は行わず、自治体病院としての運営を堅持すること。